

7-3 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果 (2008年5月～2008年10月)

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (May, 2008～October, 2008)

産業技術総合研究所

Geological Survey of Japan, AIST

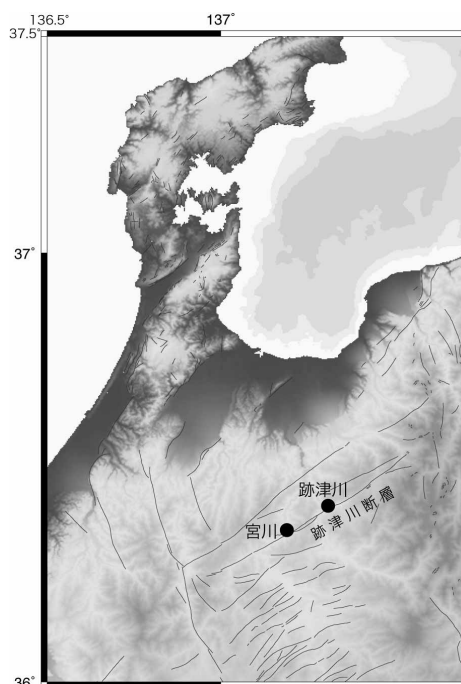
1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図). 宮川は深度約300mの坑井を掘削し, 坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置. 深度256.78～267.66 mの滞水層での地下水位と体積温度計の計測も行なっている. 跡津川は坑道内に深度約50mの坑井を掘削し, 坑底に3成分ひずみ計を設置. 地下水位と体積温度計の計測も行っている.

2. 観測結果概要

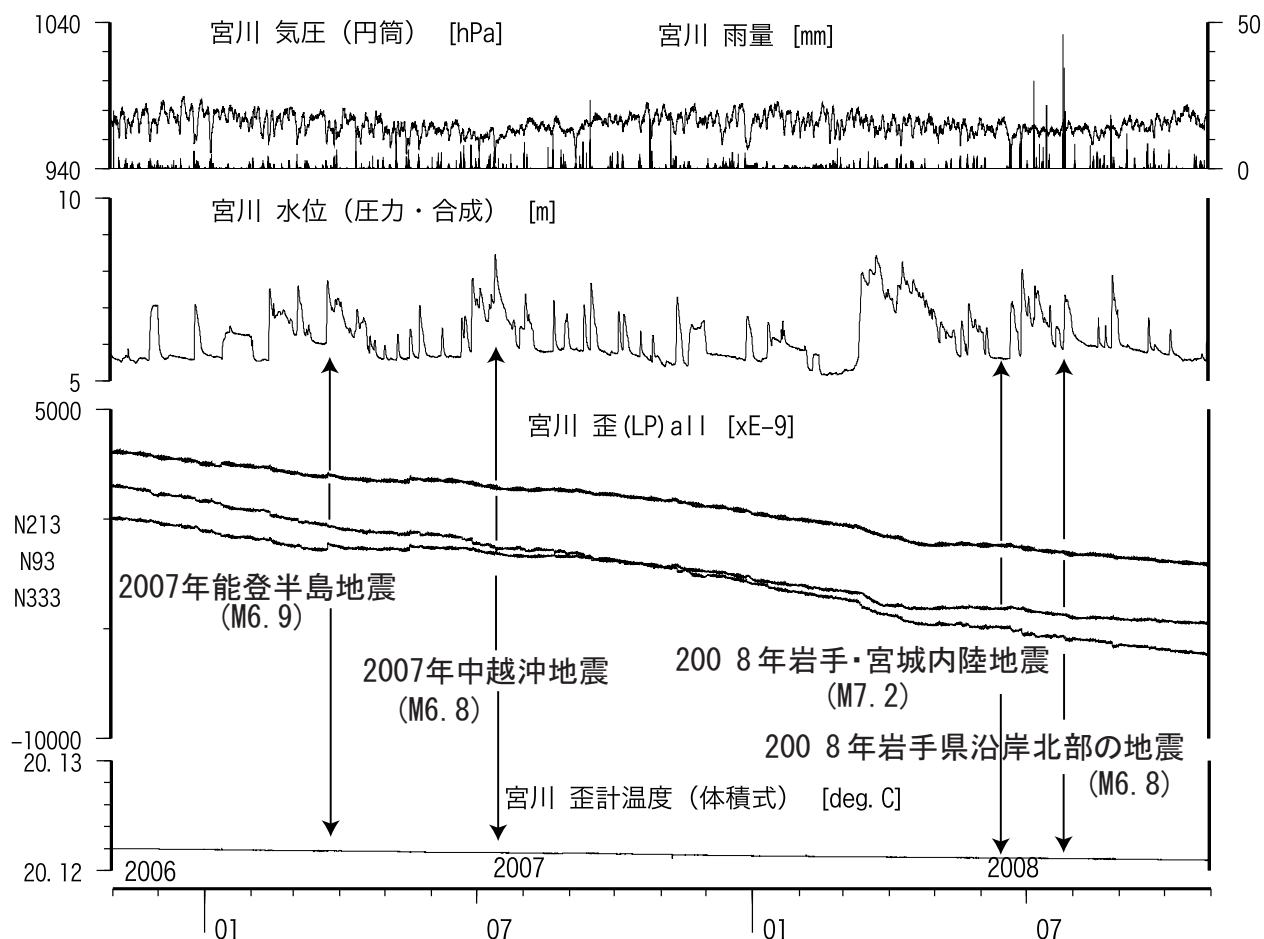
宮川(第2図) :水位, 歪計は潮汐変化を書く. 降雨の影響が大きい. 2007年3月25日能登半島地震時に $5E-8$ ～ $2E-7$ 程度の歪ステップが観測された。

跡津川(第3図):水位, 歪計は潮汐変化を書く. 降雨の影響が小さい. 2002年4月初旬から数カ月周期の温度, 歪の不安定な変動が続いている. 2007年3月25日能登半島地震時に $1E-8$ ～ $1E-7$ 程度の歪ステップと約5cmの水位上昇が観測された. 2007年7月16日中越沖地震時に $5E-9$ ～ $7E-9$ 程度の歪ステップと約3cmの水位上昇が観測された。



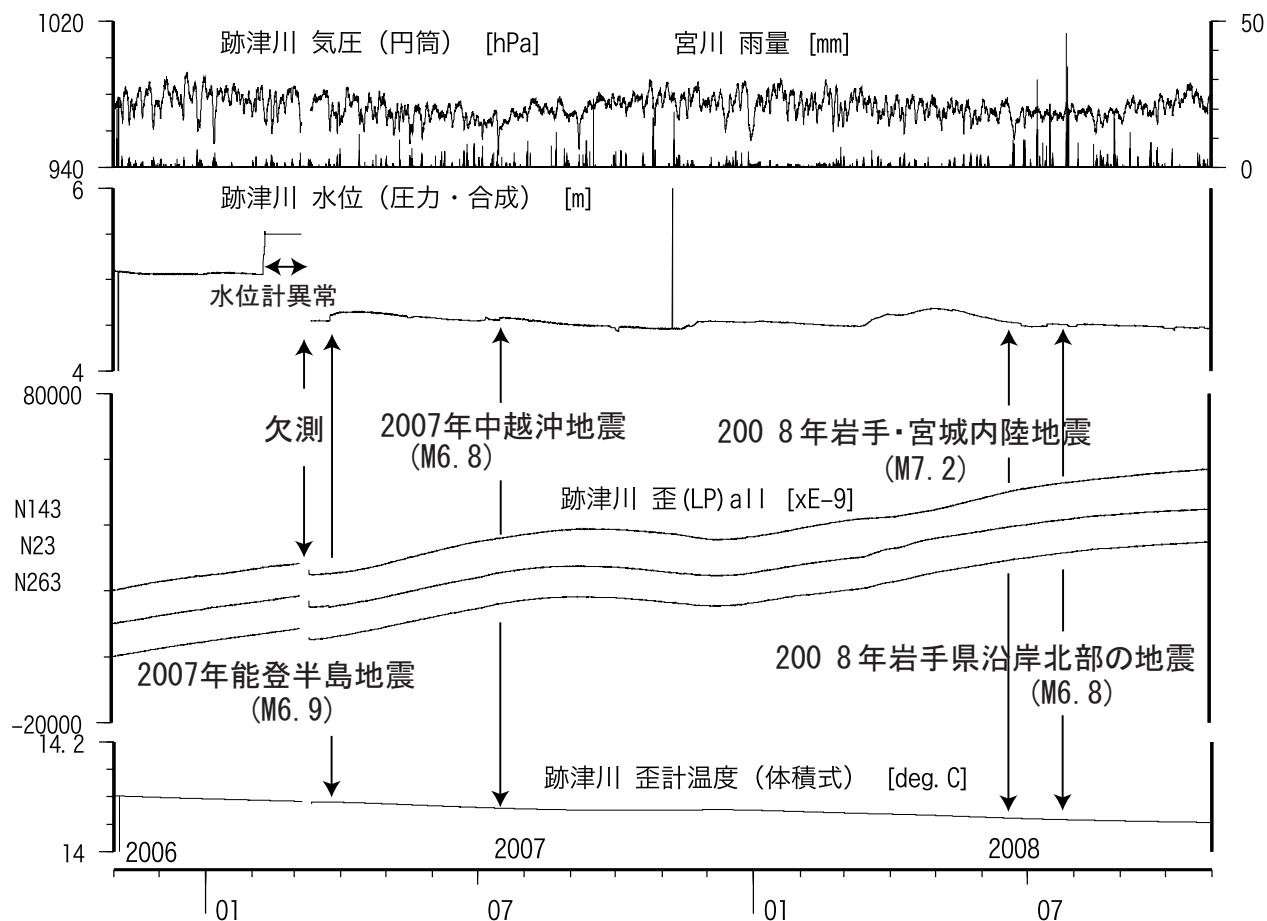
第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果2年間)

Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).



第3図 跡津川における歪観測結果(2年間).

Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 2 years).